

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公開番号】特開2004-42024(P2004-42024A)

【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2003-120880(P2003-120880)

【国際特許分類第7版】

B 0 1 D 69/08

D 0 1 D 5/24

// D 0 1 F 6/06

【F I】

B 0 1 D 69/08

D 0 1 D 5/24 Z

D 0 1 F 6/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月25日(2004.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

口金本体の中心部から放射状に複数の空所部形成駒を配置して設け、隣り合う空所部形成駒間に溶融樹脂が押し出される狭い空隙の補強リブ部形成スリットを設けるとともに、それら補強リブ部形成スリットの外端同士を連結して溶融樹脂が押し出される環状の外周壁形成空所を設けていることを特徴とする中空糸膜溶融紡糸用吐出口金。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る請求項1～2に記載の溶融紡糸中空糸膜は、管状の中心軸部から放射状に、好ましくは等角度で複数の補強リブ部を隔壁状に設け、それら隣り合う補強リブ部間に空気または水が透過する長い空所部を形成していることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

さらに、本発明に係る請求項5～6に記載の中空糸膜溶融紡糸用吐出口金は、口金本体の中心部から放射状に、好ましくは等角度で複数の空所部形成駒を配置して設け、隣り合う空所部形成駒間に溶融樹脂が押し出される狭い空隙の補強リブ部形成スリットを設けるとともに、それら補強リブ部形成スリットの外端同士を連結して溶融樹脂が押し出される環状

の外周壁形成空所を設けていることを特徴とする。